

第3節

いきいきとした生活のための 健康・福祉の社会づくり

〔1〕 区民の健康づくりのために

- 1 生活習慣病と健康
 - (1) 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり
 - (2) 区民主役の健康づくりの支援
- 2 心の健康づくり
 - (1) 心を元気にするためのしくみづくり
- 3 生涯スポーツの推進
 - (1) 健康スポーツ都市・江戸川の形成
- 4 感染症と健康危機への対応
 - (1) 感染症対策などの充実
- 5 食と住の安全性
 - (1) 健康食住の推進

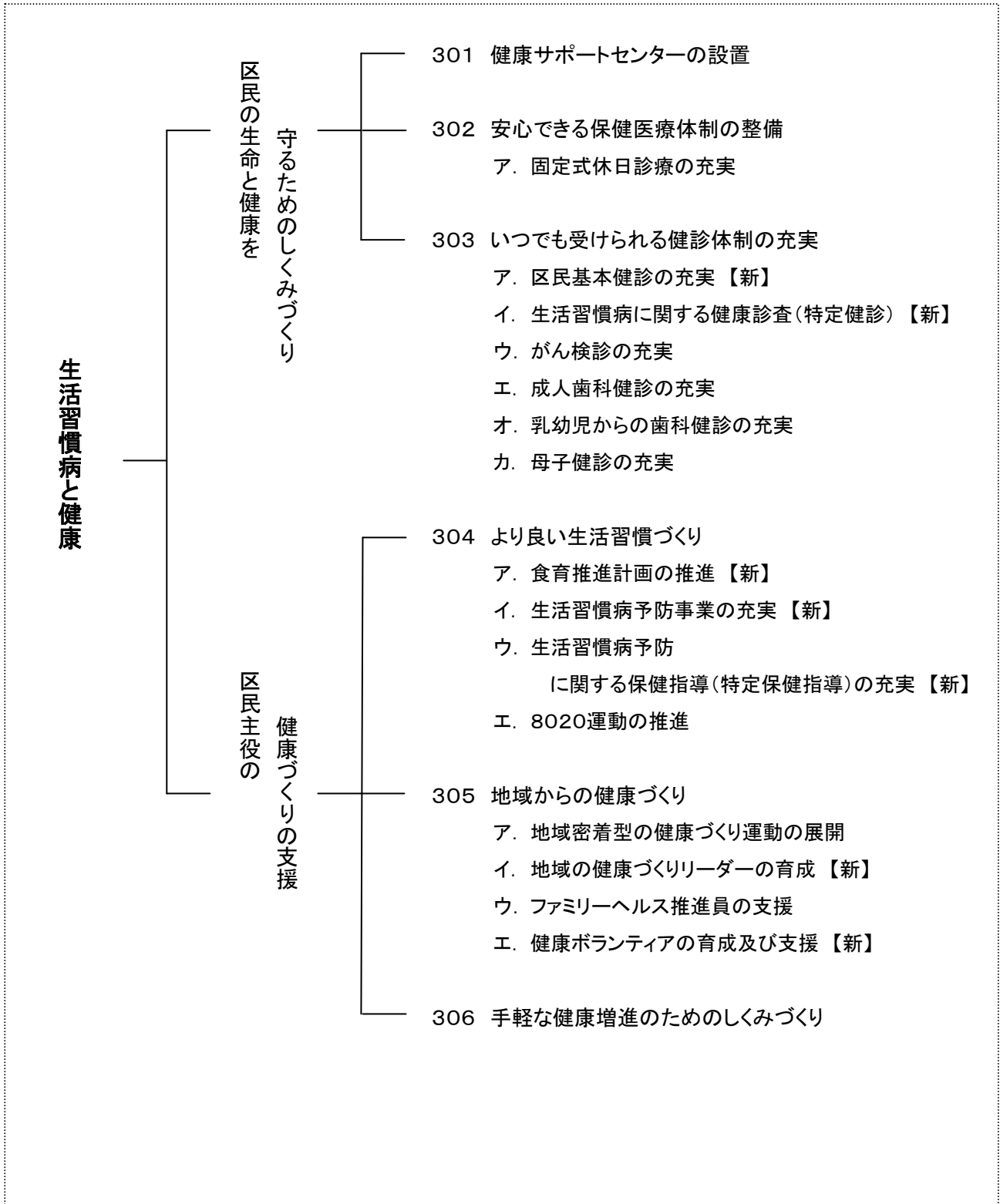
1 生活習慣病と健康

【施策の考え方】

高齢化の進展、食生活、ライフスタイル等の多様化にともない、生活習慣病が区民共通の課題となっています。

生活習慣病は、日頃の生活習慣と密接な関係があるため、正しい生活習慣を身に付け、年齢、生活環境等に応じた健康づくりを進めることが大切です。自分の健康は自分で守り、自分でつくることを基本に、区民一人ひとりの「健康寿命」をのばすことを積極的に支援するための施策を展開します。

【施策体系図】



(1) 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり

301 健康サポートセンターの運営

妊娠分娩期及び乳幼児期から熟年期までの健康相談、各種健診、精神保健福祉、生活習慣病予防対策、介護予防等を行う健康サポートセンターを区内8か所に設置し、生涯を通じた健康づくりを支援します。

302 安心できる保健医療体制の整備

5月の連休及び年末年始の固定式休日診療所を設置する医師会館及び医療検査センターの一層の周知を図ります。併せて、固定式休日診療所の新設の検討を進めるとともに、輪番制との連携を図ることにより、安心できる医療体制の整備に努めます。

施策コード	302	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
固定式休日診療の充実		固定式休日診療事業の充実	同左	同左
事業費		23,362千円	23,362千円	23,362千円

303 いつでも受けられる健診体制の充実

平成18年度医療制度改革に伴い、各種健診体制の再編を行います。引き続き、医療保険者が実施する生活習慣病予防の健診を踏まえつつ、区民等の健康増進を図り、切れ目のない健診体制の整備に努めます。

また、妊婦健診の助成回数を拡大する等、母子保健の向上に努めます。

施策コード	303	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
区民基本健診の充実	40歳未満・その他 【新】	25,000人	25,000人	25,000人
	事業費	235,617千円	235,617千円	235,617千円
	75歳以上の後期高齢者 医療制度加入者(委託) 【新】	27,230人	28,000人	28,500人
	事業費	262,316千円	269,700千円	274,550千円
生活習慣病に関する健康診査 (特定健診)の充実 【新】		64,100人	69,200人	74,100人
事業費		577,750千円	622,800千円	666,900千円
がん検診の充実		102,800人	106,000人	108,500人
事業費		724,625千円	750,472千円	765,092千円
成人歯科健診の充実		8,600人	8,650人	8,700人
事業費		71,431千円	71,850千円	72,260千円

乳幼児期からの 歯科健診の充実	歯ッピー教室の充実 29,300人	29,500人	同左
事業費	49,700千円	50,040千円	50,040千円
母子健診の充実	妊婦健康診査受診費 助成の拡充		
	乳幼児健診の実施 63,240人	同左	同左
事業費	444,682千円	444,682千円	444,682千円

(2) 区民主役の健康づくりの支援

304 より良い生活習慣づくり

食育の総合的な推進を図るため、「(仮称)江戸川区食育推進計画」を策定し、その着実な普及啓発に努めます。

また、「特定健診等実施計画」に基づき、生活習慣病に関する健康診査(特定健診)の結果等を踏まえ、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群に対して、生活習慣の改善等を図る適切な保健指導を実施するとともに、生活習慣アクションプランに基づいた普及啓発に努めます。

また、歯科医師会と協力し、口腔疾患の予防及び口腔ケアに関する普及啓発に努めます。

施策コード	304	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
食育推進計画の推進 【新】	(仮称)江戸川区食育 推進計画の策定	食育事業の実施	同左	
事業費	3,109千円	※※※千円	※※※千円	
生活習慣病予防事業の充実 【新】	セミナー、講演会、 イベント等の開催	同左	同左	
	食生活改善の支援	同左	同左	
事業費	2,794千円	3,044千円	3,044千円	
生活習慣病予防に関する 保健指導(特定保健指導) の充実 【新】	3,000人	3,700人	4,500人	
事業費	67,370千円	73,260千円	89,100千円	
8020運動*の推進	周知・啓発	同左	同左	
	2008年健口年イベント の開催			
事業費	980千円	0千円	0千円	

※8020運動:「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動。

305 地域からの健康づくり

生活習慣病及び老化の予防を図るため、ウォーキング、老化予防等の健康課題に関する出前講座を実施するとともに、ホームページ等を活用しつつ、地域の自主的な健康づくり運動を支援します。

食習慣改善、口腔ケア等の健康づくりについての総合的な学習の機会を提供するとともに、受講者の自主的な活動の立ち上げを支援することにより、地域の健康づくり活動を担うリーダーの育成に努めます。

また、健康講座、ウォーキング等の啓発・活動等を推進し、家庭・地域からの健康づくりを担うファミリーヘルス推進員の活動を支援するとともに、地域で健康づくり活動を実践するボランティアの育成等に努めます。

施策コード	305	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
地域密着型の健康づくり運動の展開		ウォーキング大会・各種健康講座の開催	同左	同左
事業費		2,600千円	2,600千円	2,600千円
地域の健康づくりリーダーの育成【新】		地域の健康づくりリーダーの育成支援	同左	同左
事業費		124千円	124千円	124千円
ファミリーヘルス推進員の支援		委嘱式の実施		委嘱式の実施
		活動支援 8団体 380名	同左	活動支援 8団体 400名
事業費		12,400千円	11,000千円	12,400千円
健康ボランティアの育成及び支援【新】		ボランティアの育成及び支援	同左	同左
事業費		116千円	116千円	116千円

306 手軽な健康増進のためのしくみづくり

河川堤防上の通路等の利用を図り、サイクリングロードの整備の充実に努める等、健康増進のために、自然の中で気持ちよく散歩等が行える環境づくりを推進します。

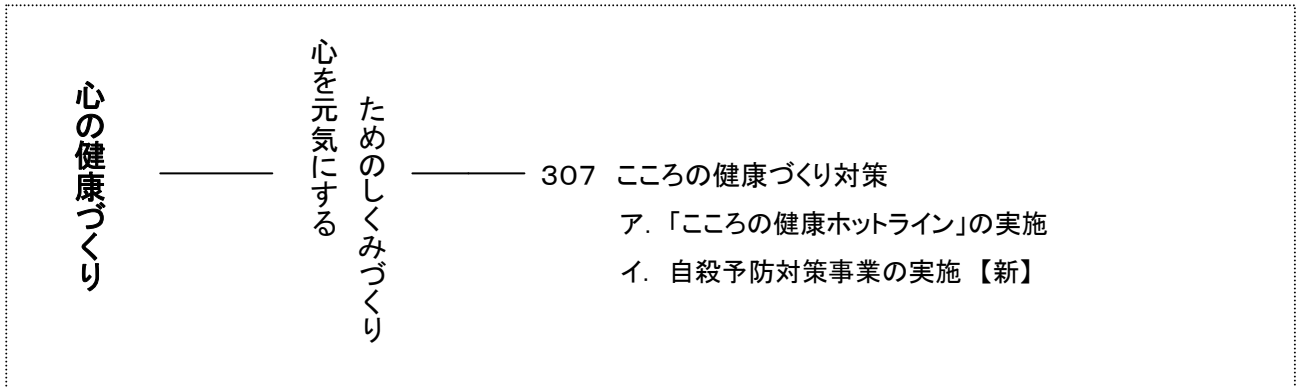
2 心の健康づくり

【施策の考え方】

ストレスの多い社会に生きる現代人にとって、「心の健康」は生活の質を左右する重要な要因の一つです。家族関係、地域社会への帰属意識等が大きく多様化するなかで、高度情報化社会の進展等により、区民一人ひとりを取りまく環境はこれまでも増して変化が激しくなっています。このような変化を受け止め、心のバランスを保っていくことが大切です。

そのため、心の健康を保つための啓発、正しい情報の提供、相談支援等の心を元気にするためのしくみづくりを進めます。

【施策体系図】



(1)心を元気にするためのしくみづくり

307 こころの健康づくり対策

うつ病、心身症等の心の健康に不安を持つ区民に対する電話相談を、休日を含めて実施するとともに、自殺対策基本法に基づき、自殺防止の啓発活動等を推進する等、自殺対策の総合的な推進を図ります。

施策コード	307	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
「こころの健康ホットライン」の実施		専用電話による相談の実施 休日電話相談の設置	専用電話による相談の実施(休日を含む)	同左
事業費		4,544千円	4,544千円	4,544千円
自殺予防対策の実施【新】		(仮称)自殺予防に関する対策会議の設置	(仮称)自殺予防に関する対策会議の運営	同左
		自殺防止キャンペーンの実施	同左	同左
事業費		165千円	165千円	165千円

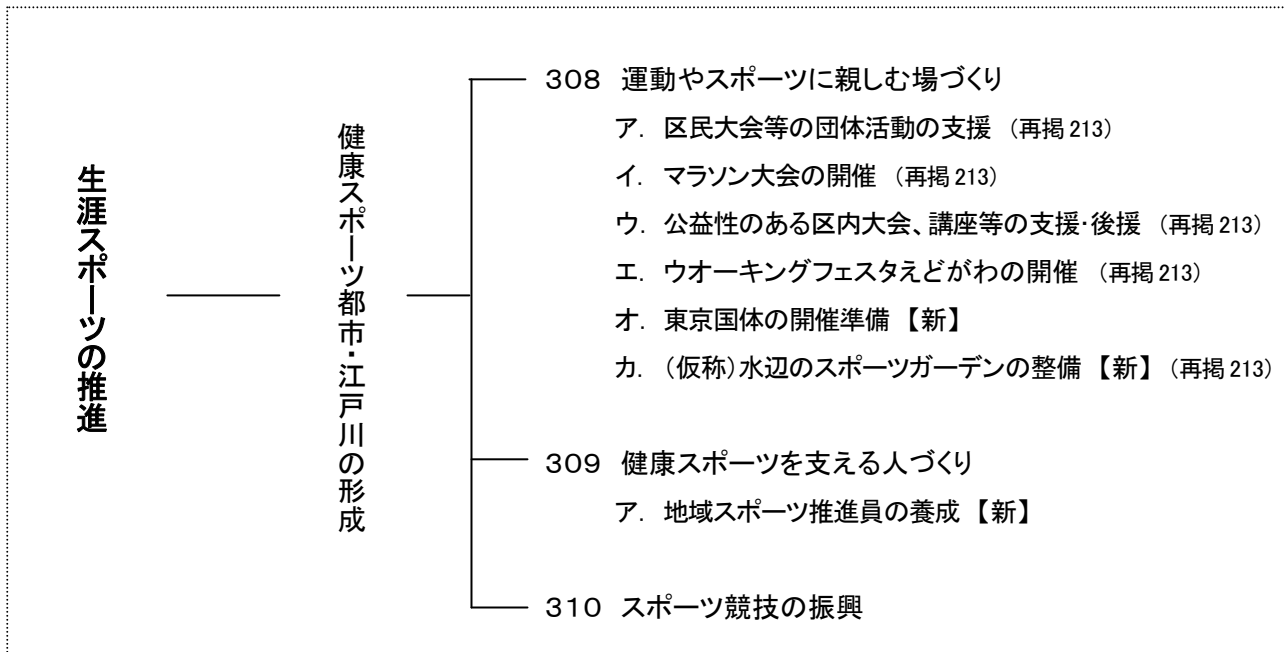
3 生涯スポーツの推進

【施策の考え方】

生活習慣病を予防し、心の健康を保ち、生涯にわたっていきいきと楽しく暮らすためには、そのもととなる身体の健康づくりを進めることが不可欠であり、区民一人ひとりが体力、興味等に応じて生涯スポーツを続けることが大切です。

江戸川区には、球場、陸上競技場等のスポーツ競技の本格的な施設をはじめ、河川敷の野球場、サッカーグラウンド、健康の道、サイクリングロード等、健康づくり、スポーツの場等が多様に整えられています。今後さらに、誰でもどこでも身近にスポーツを続けられる環境づくりを進めます。

【施策体系図】



(1)健康スポーツ都市・江戸川の形成

308 運動やスポーツに親しむ場づくり

区内大会の開催等のスポーツ活動を支援し、スポーツの振興を図ります。併せて、旧江戸川河川敷の活用を図り、区民のスポーツレクリエーション拠点となる「(仮称)水辺のスポーツガーデン」の整備を進めます。

また、平成 25 年に開催する東京国体の開催準備を進めます。

施策コード	308	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
区内大会等の団体活動の支援 再掲 213	支援	同左	同左	
事業費	3,746千円	3,746千円	3,746千円	
マラソン大会の開催 再掲 213	実行委員会による 大会運営	同左	同左	
事業費	4,500千円	4,500千円	4,500千円	
公益性のある区内大会、 講座等の支援・後援 再掲 213	支援・後援	同左	同左	
事業費	17,000千円	17,000千円	17,000千円	
ウォーキングフェスタ えどがわの開催 再掲 213	組織委員会による 大会運営	同左	同左	
事業費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
東京国体の開催準備 【新】	庁内連絡会議の設置	準備委員会 の設置及び開催	準備委員会の開催	
事業費	400千円	※※※千円	※※※千円	
(仮称)水辺のスポーツガーデン の整備 【新】 再掲 213	造成工事	供用開始及び運営	運営	
事業費	— 千円	※※※千円	※※※千円	

「—」:事業費は、身近な公園の整備(施策コード 106)の中で計上しています。

309 健康スポーツを支える人づくり

地域の健康スポーツ・レクリエーション活動を推進するため、地域スポーツ推進員の育成等の健康スポーツを支える人づくりに進めます。

施策コード	309	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
地域スポーツ推進員 の養成 【新】	中高年スポーツ教室 の実施	同左	同左	
事業費	928千円	928千円	928千円	

310 スポーツ競技の振興

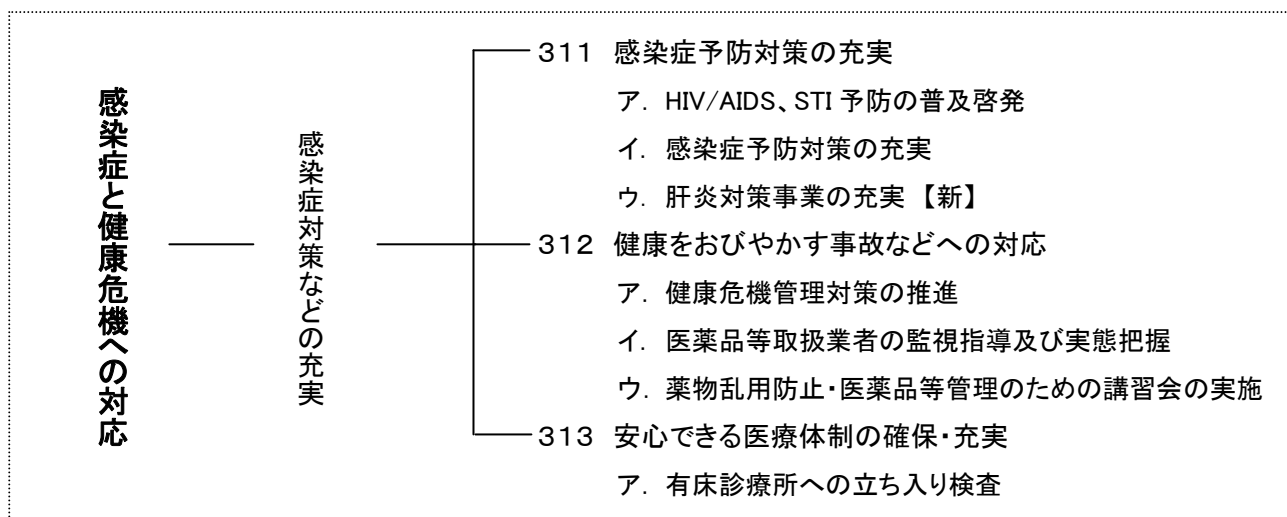
スポーツ競技の普及と水準の向上をめざし、関係団体と協力して区民大会等の開催を推進します。

4 感染症と健康危機への対応

【施策の考え方】

乳幼児のすこやかな成育を図るためには、麻疹、風疹等の予防接種率をさらに高めることが課題です。また、高齢の人々を中心とした、結核等の感染症に対する危険性の増加も危惧されます。さらに、エイズ、C型肝炎、病原性大腸菌等の対策も重要です。このような状況を踏まえ、健康危機の原因となる感染症等の情報を収集し、正しい知識及び情報の提供、予防方法の啓発等を行います。また、食品、飲料水等の事故の防止を図り、大規模食中毒等の健康危機等に、迅速に対応できる体制づくりを進めます。

【施策体系図】



(1) 感染症対策などの充実

311 感染症予防対策等の充実

HIV/AIDS*及び STI*、結核等の感染症の予防対策の充実を図るため、HIV 抗体迅速検査、結核健診等を実施するとともに、必要な情報の提供、相談支援等の体制の整備に努めます。特に、B 型及び C 型ウイルス肝炎については、その早期発見・治療を図るため、検診・受療の勧奨、保健指導等を実施します。

※ HIV (Human Immunodeficiency Virus)/AIDS: 後天性免疫不全症候群。HIV はその原因となる病原体。

※ STI (性感染症): 性行為により感染した疾患の総称。

施策コード	311	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
HIV/AIDS、STI 予防の普及啓発	HIV 抗体迅速検査の実施		同左	同左
	予防教育・予防啓発		同左	同左
事業費		4,665千円	4,665千円	4,665千円
感染症予防対策の充実	結核健診の実施		同左	同左
	DOTS*体制の整備 訪問型 DOTS*の実施		同左	同左
	情報提供		同左	同左
事業費		135,560千円	135,560千円	135,560千円

※ DOTS (直接服薬確認療法): WHO が推奨する患者の服薬を第三者が確認する治療法。

肝炎対策事業の充実 【新】	肝炎健診の実施	同左	同左
事業費	12,423千円	12,423千円	12,423千円

312 健康をおびやかす事故などへの対応

新型インフルエンザに対する初動体制における必要な機材を整備し、新たな感染症、大規模食中毒等に対して迅速に対応できるようマニュアルを見直すとともに、医療機関等の関係機関と連携を図りながら、必要な体制の整備を推進します。

また、薬局等で取り扱う医薬品、毒物・劇物の適切な管理について、立ち入り検査等を行い、必要な指導を行います。併せて、青少年に広がりつつある薬物乱用の防止のための啓発活動を充実し、健康被害の未然防止に努めます。

施策コード	312	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
健康危機管理対策の推進	マニュアルの改正			
	関係機関との連携を推進		同左	同左
事業費	7,432千円	600千円	600千円	
医薬品等取扱業者の監視指導及び実態把握	薬局・毒劇物販売業者等の監視指導	同左	同左	
事業費	2,547千円	2,547千円	2,547千円	
薬物乱用防止・医薬品等管理のための講習会の実施	薬局等講習会開催	同左	同左	
	薬物乱用防止推進大会の開催	同左	同左	
事業費	338千円	338千円	338千円	

313 安心できる医療体制の確保・充実

医療安全管理体制の整備、院内感染対策の実施等について、有床診療所の立ち入り検査を実施し、安心できる医療体制の確保に努めます。

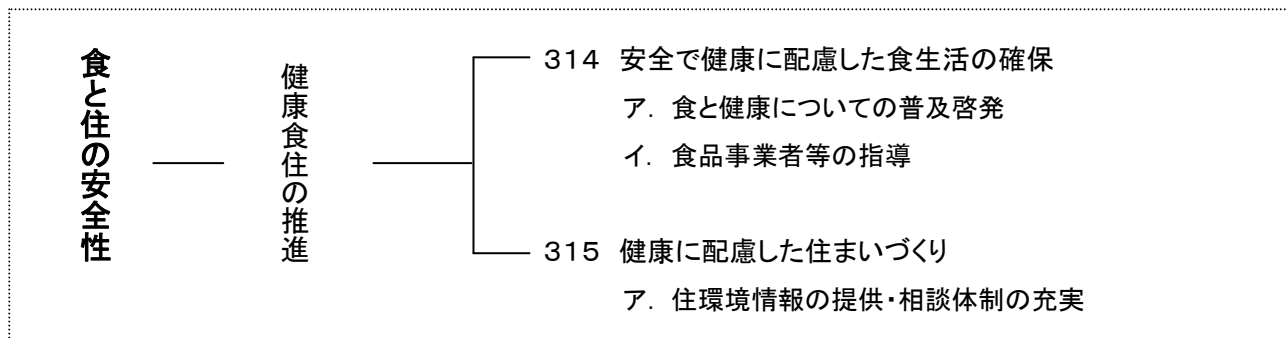
施策コード	313	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
有床診療所への立入り検査	15施設	同左	同左	
事業費	12千円	12千円	12千円	

5 食と住の安全性

【施策の考え方】

食品の安全性に対する関心が高まる一方、輸入食品の増大、遺伝子組み替え食品の普及等が進んでいます。このような状況を踏まえ、食をめぐる環境の変化を的確に捉えることにより、区民一人ひとりの食の安全の確保に取り組めます。また、住まいについても、区民の健康の維持・増進のうえで重要な役割を果たしています。しかし、建材に使用される化学物質、衛生害虫等による健康被害も生じており、わかりやすい情報の提供及び相談体制の充実を通じた、健康に配慮した住まいづくりを進めます。

【施策体系図】



(1)健康食住の推進

314 安全で健康に配慮した食生活の確保

食品の安全に関する情報提供を行うとともに、食品フォーラムの開催、ファミリーヘルス推進員の活動等を通じて、食と健康に関する啓発を図ります。併せて、食品衛生監視指導計画に基づき、食品提供事業者に対する食品添加物の検査等を行うとともに、適切な指導及び安全な食品提供の確保に努めます。

施策コード	314	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
食と健康についての普及啓発	食品フォーラム等の開催 年13回	同左	同左	
事業費	500千円	500千円	500千円	
食品事業者等の指導	業態別一斉指導 (73回 3, 145軒)	同左	同左	
事業費	19, 531千円	19, 531千円	19, 531千円	

315 健康に配慮した住まいづくり

健康で快適な住環境の確保を図るため、アレルギー性疾患の原因の一つであるダニアレルゲンに関する検査を実施する等、安全な住まいに関する啓発活動、相談支援等を行います。

施策コード	315	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
住環境情報の提供・相談体制の充実	ダニアレルゲン量検査 300件	同左	同左	
事業費	719千円	719千円	719千円	